



第1005号

2006年9月17日発行

日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18

編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇9月の代禱・信施奉献先

▽わかちあい募金のため▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽タイのHIV感染者およびAIDS発症者支援のため▽心臓病児保育活動のため

◆とこしえの平安

7月25日 鶴飼 良平 (75)

聖バルナバ

8月6日 佐々木愛理 (35)

聖愛

8月12日 瀧口 泰正 (92)

聖ヨハネ

9月6日 司祭りチャード・A.メリット (91)

アメリカ聖公会派遣宣教師

◆教役者レクイエム

9月20日(水)午前10時半

主教座聖堂

説教・竹内謙太郎司祭 分、オルガンⅡ八代紀子、ソプラノⅡ高柳章江

・神田キリスト 20日(水)12時20分、オルガンⅡ八代紀子、佐藤礼子(賛助出演)

*各30分程度・入場無料

◇9月ワンタイムコンサート
・聖テモテ 19日(火)12時30

「訂正」先週号第2面3段目「司祭叙任金祝礼拝」の開始時間を「13時↓14時」と。

今週・来週の予定

9月17日~30日

- 17(日) 聖霊降臨後第15主日
主教巡回 目白聖公会
外濠G教会協議会(テモテ)
山手G教会協議会(聖十字)
多摩G教会協議会(マルコ)
環状G教会協議会(清瀬)
- 18(月・休) 教区フェスティバル (香蘭女学校)
- 19(火) 小平墓地委員会
- 20(水) 教役者レクイエム
教役者待遇調査委員会
- 22(金) 信仰と生活委・正義と平和
運営委合同委員会
- 24(日) 聖霊降臨後第16主日
主教巡回
浅草聖ヨハネ教会
城南G教会協議会(三光)
下町G教会協議会(ヨハネ)
- 29(金) 主教座聖堂活動委員会

(この用紙は再生紙を使っています)

私は教区フェスティバルが好きである。普段、各教会では感じる事が出来ないパワーを年に一度味わえるからだ。そのパワーの源は何と言っても、こんなにも聖公会の仲間がいるのか、という驚きと喜びにある。私があるの事を強く意識するのは、高校時代に参加したユースカンファレンスの影響が大きい。

東京教区の中高生が対象のそのキャンプで、こんなにも信仰の仲間がいるのかと驚き、そしてその出会いを通して多くの喜びをもらった。その仲間が教区フェスティバルに声をかけ合って集まったのは、今でもいい思い出である。その流れは今COAに引き継がれ、毎年楽しそうな中高生の輪を教区フェスティバルで見かけると、うれしい気分になる。その一方で

《恵みに生かされて》—

出 会 い の 中 に

五十嵐 潤

自分の仲間は現在、様々な理由で教会生活から離れている。私自身も大学時代、部活が忙しく、教会から心が離れたが、結婚をし、子どもが生まれ、この子が教会生活の中で育ってほしいと願った時、再び教会に心が向いた。

中高生時代の出会いが教会と自分を強く結びつけ、娘との出会いが教会と自分を再び結びつけてくれた。私はその出会いの中に神様の心を感じずにはいられない。ひとつひとつの出会いの中に神様がおられるのなら、明日は神様にたくさん出会える一日になりそうだ。そうか、だから教区フェスティバルに大きなパワーを感じるのだ。

明日、あなたにも出会えますように。

(練馬聖ガブリエル教会信徒)

《06年教区フェスティバル》ついでついでと和やO(わ)
▽9月18日(月)・休10時半 ▽香蘭女学校 ▽説教者〓五十嵐正司主教

▽東京教区青年世代ネットワーク起ち上げ会(つながらるの会〓仮称)が9月30日(土) 13時〜21時、三光教会を会場に開かれる。企画呼び掛け人は中村真希(信生委・青年担当)、八木正言司祭(管区青年担当)、上田憲明執事(信仰と生活委員)を含む青年有志で、大学生世代以上、関心のある人たちの参加を呼び掛けている。詳細照会は前記青年担当者宛に(090-6168-15351)。

▽立教女学院レクチャーコンサート「聖歌とオルガン音楽―聖歌の背景、そしてオルガン音楽との繋がり」第2回

(即興演奏)が9月30日(土)14時から同院聖マリアレット礼拝堂で。レクチャー〓岩崎真実子、演奏〓フランツ・ヨゼフ・シュトイバー。2千円(同院後援会の働きへ)。照会電話〓03(53

70)3038(月・火・木・金)。
▽浅草聖ヨハネ教会は宣教一三〇周年(教会創立一五一年)を迎えて記念礼拝(植田仁太郎教区主教の司式・説教)と懇親会を9月24日(日)14時から行なう。他教会の方々の参加も：と呼び掛けられている。電話〓03(3851)9521。

公 示
日本聖公会東京教区第103(定期)教区会を下記のように招集します。

教主降生2006年9月1日
日本聖公会東京教区
教区会議長
主教 ペテロ 植田仁太郎

記
日 時 2006年11月23日
(木・休日)
午前9時から午後5時まで
場 所 開会聖餐式
聖アンデレ主教座聖堂
議 場 聖アンデレホール
東京都港区芝公園3-6-18

書記を次のように任命する。

司祭 マリア 山野 繁子
執事 ジェームス 須賀 義和

以 上

【学びと働きから】19
ボーイスカウトと共に

8月初め、能登半島の最先端、石川県珠洲市を会場に、全国2万2千人余りのボーイスカウトが集まり「日本ジャンボリー」という1週間にわたる野外キャンプが開催されました。これは、ボーイスカウトとして最大の祭典で、4年に一度開催されています。ボーイスカウトは、健全な青少年の育成と教育を目的とし、その一つに明確な信仰を持つというのがありません。創設者のベーデンパウエル氏は英国聖公会の牧師の息子として生まれ、創設当初より信仰心と礼拝を大切にしています。

ジャンボリーにおいても宗教

儀礼の時間が用意されており、様々な宗教、宗派がそれぞれのブースを用意し、礼拝が行われました。聖公会は金沢聖ヨハネ教会の司祭をお呼びし、百名余りのスカウトと共に礼拝を行いました。説教では「今行われているこの礼拝は、一番最初の礼拝に最も近い集会を経験しているのかなあとも思います」と話され、百年前にイギリスで最初に行われたキャンプでの礼拝を想起させるものでした。少年の育成と信仰というものを考える、教会が多くのボーイスカウト活動を支えることができれば、少年達と出会い、信仰を共有し豊かな人間形成の一役を担えるように思います。

東京聖マリア教会 宮田優三

《今、この教会では…》

池袋聖公会

8月の休みが終わり、9月からまた愛餐会が再開。有志により4グループに分けられ、月1回の食事当番がまわってくる。夏休みはその当番から開放され、皆、ホッとして何となく嬉しそうな、多少手持ち無沙汰の様子も感じられる。いつまで続けられるのか。かつての土曜日の教会の清掃は、当番の出席者が減少し、廃止。現在は、主日礼拝後食事とオルターの当番以外の全員が、礼拝堂、外回りの清掃等に参加。掃除に精を出す人、談笑だけの人、様々だが、それでも協働の雰囲気の中で、の奉仕活動には、分かち合う喜びがあるように思う。

(前田倭子)